

世界名作童話 森は生きている (1980)

メディア 映画 アニメ
ジャンル 文芸
製作国 日本
色彩 Color
時間 65分
初公開日 1980/03/15

【解説】

ソビエトの詩人サムエル・マルシャークの戯曲を原作に、東映動画（現・東映アニメーション）が製作した劇場アニメ。

真冬に、春に咲く花マユツキ草が欲しいと言い出した女王。女王はまだ子供でわがままだが、その命令には誰も逆らえない。女王の命を受けた王宮は一般市民に、マユツキ草を摘んでくれば、その摘んできた籠分の金貨を与えると布告する。少女アーニャは、意地悪な継母と血の繋がらない姉と暮らしていたが、まるで下女のように扱われていた。そんなアーニャにマユツキ草を摘んでくるよう命じる継母。季節違いの花が見つかる訳もなく、森の中で困り果てたアーニャ。そんな彼女を気にかけてのは、一年の12の月を司る12人の妖精たちだった。

劇伴は、ソ連のレニングラード・シンフォニック・オーケストラが演奏。本来はソ連との合作予定だったが、実際には東映動画単独で製作された。実力派アニメーター・山口泰宏の清潔感ある作画が美しく、アーニャを演じた大竹しのぶの芝居も新鮮な印象を与えた。

【クレジット】

演出	矢吹公郎	
製作総指揮	今田智憲	
プロデューサー	横山賢二 渡辺亮徳	
原作	サムエル・マルシャーク	「森は生きている」
脚本	隆巴 矢吹公郎	
作画監督	山口泰弘	
撮影監督	清水政夫 細田民男	
美術監督	川本征平	
編集	千蔵豊 片桐公一	
音響監督	伊藤道広	
音楽	ボロジミル・クリフツォフ	
声の出演	大竹しのぶ 神崎愛 杉山とく子 向井真理子 永井一郎 雨森雅司	

隆大介
小林清志
森功至
柴田秀勝
山内雅人
役所広司

Koji Yakusho